

内子座「座長」決定

ひろの
敏生さん（63歳）大阪市在住

内子町が全国に公募していた内子座の初代座長が決定し、2月26日、記者発表を行いました。

くりプロデューサー」として、全国で活躍しています。廣野さんは「座長の公募を知ったとき、これはわたしの仕事だ、と直感しました。内子町は何度も訪れている大好きな町。座長に選んでいただいたことを、本当にうれし

く思っています。まずは地域の皆さんと十分に言葉を交わし、心を通わせながら取り組んでいきたい。また内子町に残された民話や伝承などに学び、内子物語をつくりたい」と語りました。

座長は昨年10～11月にかけて一般公募され、53人が応募。決定理由について稲本隆壽内子町長は「廣野さんは幅広い人脈と数多くの実績をお持ちで、座長として果たすべき役目を明確に認識されている。そして何より、内子座を愛されている。広い視野で内子座の魅力を全国にアピールするとともに、新たなまちづくりにつながる動きを起している」と語りました。

なお、座長就任は7月1日の予定です。



PROFILE プロフィール

富山県出身。現在は大阪市中央区在住。内分泌科医として勤務後、「良い環境を整えると、元気な人間が育つ」という考えから、昭和58年、岡山理科大学「環境医学」助教授に就任。翌年には住宅・都市整備公団よりスペイン・バルセロナ市に派遣され、古いものと新しいものが同居する町のあり方などを学ぶ。

平成元年からは富山県高岡市で、市民1,300人余りが参加する日本最大の野外音楽劇を企画、8年間にわたって手掛けた実績を持つ。平成6年、(株)創造工房ダ・ピンチを設立。代表取締役役に就任し、「まちづくりプロデューサー」として活動を続ける。座長就任後は、同代表を退任し、座長業に専念する予定。町内に居住し、「24時間内子座座長でありたい」と語っている。